



# 新着図書案内

2017年11月発行



## 『蟲の饗宴 僕はこうして虫屋になった』

懐かしい日々を呼びさます昆虫たちとの記憶…。幼少期から昆虫と文学に親しんできた“現代のフェアブル”奥本大三郎による、24の昆虫をめぐるエッセイ集。『太陽』連載に加筆し単行本化。

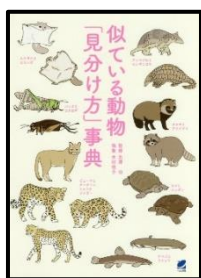
奥本 大三郎 // 著 世界文化社



## 『食と健康の一億年史』

昆虫、果物、肉、魚、穀物…。ヒトは何を選びとり、どう食べて生き延びたのか？ 栄養学、進化論、自然人類学の見地から、人類のエネルギー摂取における謎に満ちた遠大な歴史に迫る。

ステューブン レ // 著 大沢 章子 // 訳 亜紀書房



## 『似ている動物「見分け方」事典』

ハムスターとモルモット、ムササビとモモンガ、アシカとアザラシ…。知ってはいるが、違いのわからない似た者同士の生き物80種を取り上げ、主に見た目で見分けるポイント、イラスト満載のチャートとともに解説する。

木村 悦子 // 執筆 北澤 功 // 監修 ベレ出版



## 『スイカのタネはなぜ散らばっているのか』

靴の裏にくっついて移動するオオバコ タネ、カビから栄養分を奪って発芽する蘭のタネ…。受精する前に花粉として移動し、受精した後に種子として移動する種子植物の、知恵と工夫の粋を極めた姿を紹介する。

稲垣 栄洋 // 著 西本 眞理子 // 絵 草思社



## 『精神科医はくすりを出すときこう考える』

心の病気をくすりでするってどういうこと？ 「カウンセリング」との違い、薬物療法以前の工夫…。精神科の薬物療法について、患者との間にあるイメージの谷間を埋めるべく、精神科医が「リアルな理屈」を開陳する。

仙波 純一 // 著 日本評論社



## 『裏まで楽しむ!大相撲』

土俵の上だけが相撲じゃない! 土俵裏&土俵まわりを“裏方”目線で観る今までにない相撲本。行司・呼出・床山がテレビでは見られない相撲界の舞台裏を語り尽くす「裏方スペシャル座談会」も収録。

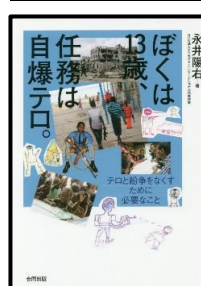
ダグハウス // 編 KADOKAWA



## 『ことばの恐竜』

現代詩の概念を打ち破り、新たな可能性を広げてきた詩人・最果タヒ。彼女はなぜ「ことば」の世界を選んだのか。作詞家、女優、詩人、漫画家らと、ジャンルを超えて「ことば」について語り合う。『ユリイカ』他掲載を書籍化。

最果 タヒ // 著 青土社



## 『ぼくは13歳、任務は自爆テロ。』

世界最悪の紛争地ソマリアをなんとかかしたい。現代のテロと紛争の解決に向けた新たなアプローチ。ソマリア人ギャングを脱過激化し、社会に復帰させるプロジェクトに取り組んできた著者らの考え、テロと紛争の解決策を紹介する。

永井 陽右 // 著 合同出版

\*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。  
\*紹介文はTRCマークより引用。\*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。





## 『ゴッホの耳 天才画家最大の謎』

1888年、南フランスのアール。画家のフィンセント・ファン・ゴッホは自らの片耳を切り落とした。彼はなぜこんな事件を引き起こしたのか？ 新発見資料を通して、ゴッホの知られざる一面をあぶり出す。

バーナデット マーフィー // 著 早川書房

## 『酒肴(つまみ)ごよみ365日』

日々の肴は、天からのご褒美。卓を潤すお酒を用意し、ただただ楽しめばいい…。料理を作ること食べることを、酒を呑むことを好む2人の写真家が、四季を楽しむ365日の簡易なおつまみレシピを、美しい写真とともに紹介する。

萬田 康文 // 著 大沼 ショージ // 著 誠文堂新光社

## 『カラー図鑑日本の火山』

富士山をはじめ、桜島、阿蘇山、雲仙岳、西ノ島まで、日本各地に点在する111の活火山を取り上げ、写真や図版、地図をもちいてわかりやすく解説する。切り取り式「日本活火山年表」付き。

高田 亮 // 監修 ナツメ社

## 『復興百年誌 石碑が語る関東大震災』

慰霊碑・記念碑に刻まれたのは災害の記録だけではない。奇跡の復興を成し遂げた地域住民たちの姿が生き生きと描かれている。神奈川県における現地調査をもとに、関東大震災復興百年の歴史を住民目線で明らかにする。

武村 雅之 // 著 鹿島出版会

## 『脱ネット・スマホ中毒』

中高生に広がるスマホ依存、パートナー間のネット依存、低年齢化が進むオンラインゲーム依存…。なぜハマるのか、どうすれば抜け出せるのかを会話形式で解説する。マンガ事例、書き込み式のセルフチェックなども掲載。

遠藤 美季 // 著 誠文堂新光社

## 『スペリングの英語史』

ナイトを「night」と「knight」に書き分けるのはなぜ？ 一見わけもなくイレギュラーな英語のスペリングにもれつきとした理由があった！ オックスフォード大学英語学教授が、スペリングの謎に切り込む。

サイモン ホロビン // 著 堀田 隆一 // 訳 早川書房

## 『元号 全247総覧』

元号を追えば日本の歴史が見えてくる。大化から平成に至るすべての元号について、改元年月日、元号の出典、改元理由、元号使用期間、その時代の在位天皇などの基礎データに加え、その時代に起きた主なできごとを解説する。

山本 博文 // 編著 悟空出版

## 『世界で一番美しい馬の図鑑』

モウコノウマ、サラブレッド、アラブ…。80種を超える馬種の進化の歴史をたどるとともに、気高く威厳に満ちた馬たちがいかに人間社会において重要な役割を果たしてきたかを、美しい写真を交えて紐解く。

タムシン ピッケラル // 著 エクスナレッジ

## 『この椅子が一番!』

名作椅子、座りやすい椅子、子どもに座らせた椅子…。デザイナー、建築家、木工家、インテリアショップ店長など、椅子に関わる専門家のアンケート回答を基に、シーン別ベストな椅子を紹介。椅子の特徴やエピソードも解説。

西川 栄明 // 編著 誠文堂新光社

## 『オーケストラ解体新書』

常に最高のパフォーマンスを目指し、音楽の喜びを伝えることに情熱を注ぐオーケストラ。指揮者、楽団員、事務局員は日頃何を考えているのか。読売日本交響楽団を俎上に載せ、〈感動〉の舞台裏に秘められたドラマを明かす。

読売日本交響楽団 // 編 中央公論新社

\*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。  
\*紹介文はTRCマークより引用。\*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。

